

教 授 要 目

昭和40年度

小樽商科大学

小樽商科大学教授要目

目次

I 授業科目履修方法	1
1 昭和40年度開設科目	1
2 履修方法	3
II 教授要目	5
1 一般教育科目	5
2 外国語科目	11
3 保健体育科目	19
4 専門教育科目	21
5 教職に関する専門科目	37

I 授業科目履修方法

1. 昭和40年度の開設科目は次の通りである。

区分	授業科目	単位	年度	担当教官	備考
一般 教育 科目	哲学	4	II	川村教授	
	倫理学	4	I	〃	
	心理学	4	I	馬場助教授	
	歴史学	4	II	阿部講師	
	日本文学	4	I	広田教授	
	外国(露)文学	4	II	松本助教授	
	外国(英)文学	4	I・II	飛田助教授	
	日本文化史	4	I	広田教授	
	社会学	4	I・II	浜林教授	
	法(日本国憲法) 学(2単位を含む)	4	I・II	中川助教授	
◎経済学概論	4	I	{藤井助教授 早見助教授	(前期) (後期)	
◎商業概論	4	I	岡本教授		
自然科学	◎数学	4	I	武隈教授	
	物理学	4	I	小宮講師	北海道学芸大学助教授
	化学	4	I	斉藤教授	
	生物学	4	I	向川講師	北海道大学理学部
外国 語 科 目	◎英語 1 {I II}	7 6	{I II}	(備考参照)	
	英語 (2)	4	III・IV	久納助教授	
	英語 (2)	4	〃	スミス教師	外国人教師
	英文学	4	I・II	飛田助教授	
	○独語 {I II}	8	{I II}	{中川講師 宮下講師	北海道大学文学部講師 外国人講師
	○仏語 {I II}	8	{I II}	{松尾教授 太黒講師	非常勤講師
	○中国語 {I II}	8	{I II}	川上教授	
	○露語 {I II}	8	{I II}	松本助教授	
	○西語 {I II}	8	{I II}	一色助教授	

保健体育科目	◎実技	2	I	杉山 助教授 藤江 講師	非常勤講師
	◎講義	2	II	杉山 助教授 藤江 講師	(前期) (後半) (前期) (前半) 小樽 協会病院内科医長
専門科目 共通教育科目	◎民法I	4	II	相原 講師	小樽商大短大助教授
	◎民法II	4	III・IV	中川 助教授	
	◎商法I	4	III	実方 講師	(後期)
	◎国際法	4	IV	桑原 助教授	
	※経済法学	2	III・IV	藤江 助教授	西川・村田
	◎統計学	4	II	藤江 助教授	
	◎数理統計学	4	III・IV	戸島 講師	(前期) 非常勤講師
	◎経済原論	4	II	藤井 助教授	(前期) 北海道大学
	※経済変動論	4	IV	地主 講師	(後期) 経済学部助教授
	◎経済学特殊問題	4	II・III	降旗 講師	
	◎計量経済学	4	IV	松田 講師	
	◎経済史概論	4	II	浜林 教授	
	◎財政学	4	III	早見 助教授	(前期) 併任
	◎国際経済論	4	IV	麻田 教授	
	◎商業英語	4	III	木曾 教授	
	◎金融経済論	4	III	阪口 助教授	
	◎銀行論	4	IV	藤沢 教授	
	◎配給論	4	III	岡本 教授	
	◎保険論	4	IV	久木 教授	
	◎証券市場論	2	IV	進藤 助教授	慶応義塾大学教授
◎証券金融論	4	IV	小竹 講師		
◎経営経済学	4	II	伊藤 教授		
◎簿記学	4	II	久野 助教授		
◎商業数学	4	III・VI	沼田 講師		
◎会計学	4	III	石河 教授		
△管理科学概論	4	I	古瀬 教授		
△応用数学I	4	II	武隈 教授		
△応用数学II	4	II	沼田 講師		
△応用数学III	4	II	戸島 講師		
△管理科学I	4	III	西川 助教授		
△管理科学II	4	III	古瀬 教授		
△数値計算	4	III	穂鷹 講師		
△研究指導	12	III・IV	専門科目担当教官		
△職業指導	4	III	石井 講師	北海道学芸大学助教授	

経済専門科目	日本経済史	2	III・IV	担当者未定	
	農業経済学	4	III・IV	担当者未定	
	社会政策	4	IV	吉武 助教授	
商業専門科目	※海外証券事情	2	III・IV	上林 講師	元神戸大学教授
	原価計算	4	III	久野 助教授	
	工場経営	4	III	伊藤 教授	
	※財務管理	2	IV	担当者未定	
	※監査論	2	III・IV	担当者未定	
教職に関する科目	教育原理	3	I	田中 助教授	
	教育心理	3	I・II	馬場 助教授	
	商業科教育法	3	II	金巻 講師	小樽商大短大教授
	※教育実習	2	III	金巻 講師	小樽商大短大教授
	教育史	3	III	田中 助教授	

備考

- 表中、◎印は必修科目を示す。
- 表中、○印は選択必修科目を示す。
- 表中、※印は集中講義を示す。
- △印は38年度より開設した管理科学系列に属する科目である。
- 英語(1)の担当教官は次のとおりである。
木曾教授、脇田助教授、飛田助教授、宇賀治助教授、久納助教授、北市助教授、スミス外国人教師、北村講師(小樽商大短大教授)野尻講師(北大文学部助教授)
- 英語(2)、英語学および英文学は高等学校英語科二級普通免許状取得のための必修科目であると共に一般学生の課外科目としての履修参加も認められる。
また、英文学は一般教育科目、外国(英)文学と同じ講義であり履修生の希望によりどちらか一方の単位となる。

2. 学生は4年間在学し下記各項に示すところに従い、単位を修得することによって卒業資格が与えられる。

(1) 一般教育科目
一般教育科目は人文科学、社会科学、自然科学の3系列につき、それぞれ3科目12単位以上を履修しなければならない。
なお、経済学概論、商業概論は昭和33年度以前入学者を除く全学生の必修科目、数学は全学生に対しての必修科目となっており、法学(日本国憲法2単位を含む)は、高等学校(商業科および英語科)二級普通免許状を取得する学生についてのみ必修となつてゐる。
なお、法学概論を履修済の商業教員養成課程の学生ならびに教員免許を取得希望する学生中、憲法を未履修の学生については明年度憲法2単

単位修得要領一覧表

位のみについて開設を予定している。

また文学の単位は日本文学，外国文学のうち，いずれか1科目だけが卒業のための所要単位数に算入される。

(2) 外国語科目

英語（I II）は1年度週7時間，2年度週6時間履修し，各担当教官から単位が与えられ，1年度計7単位，2年度計6単位，合計13単位を必修とする（但し，39年度以前入学者は従前どおり12単位）。

英語以外の外国語（独，仏，中，西，露の各外国語）は，いずれか1カ国語を選択必修とし，毎週4時間，年度毎（1，2年度）4単位計8単位を履修しなければならない。

(3) 保健体育科目

体育は実技2単位（1年度），講義2単位（2年度）を必修とする。

(4) 専門教育科目

専門教育科目は84単位以上（職業指導を除き）を履修しなければならない。

なお，専門教育科目中，民法I，商法I，統計学，経済原論，経済史概論，経営経済学，簿記学および会計学各4単位は昭和33年度以前入学者を除く全学生に対する必修科目となっている。

また，高等学校商業科（英語科は該当せず）二級普通免許状を取得する学生については，上記84単位の外，職業指導を必修とする。

研究指導は毎週3時間，3年度からの2カ年継続授業12単位（卒業論文を含む）で専門教育科目84単位中に含まれる。

研究指導を履修しない学生は研究指導12単位分を，他の専門科目の履修によつて充足し，84単位以上を履修しなければならない。

学生は，3年度から経済学科と商業学科とに分れるが，他学科の専門科目は卒業の単位には算入されない。従つて専門教育科目は各人の所属する学科の専門科目と共通専門科目について84単位以上を修得しなければならない。

(5) 商業教員養成課程

商業教員養成課程（以下教職課程という）の履修を条件として入学した学生は，上記の外，高等学校商業科二級普通免許状取得の資格を得ることも卒業のための条件となっているから注意を要する。

その他，単位の修得要領については，次頁の別表を参照すること。

種別	科目 区別	一般教育科目				保健体育科目			外国語科目				英 外 I
		人文 科学	社会科学	自然科学	計	実技	講義	計	英語			小計	
									英語(1) I	英語(2) II	英文 学		
A 一般学生	12	12 (経済学概論 商業概論)必修	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6			12	4
B 商業教員養成 課程(教職課 程)を履修条 件としての入 学者	12	12 (経済学概論 商業概論 法 学 (日本国憲 法2単位を含む))必修	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6			12	4
C 高等学校英語 科二級普通免 許状取得希望 者	12	21 (経済学概論 商業概論 法 学 (日本国憲 法2単位を含む))必修	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6	12	8	32	4
注	<p>1 表中の単位は総て最低所要単位数を示したものである。</p> <p>2 A, B欄はそれぞれ卒業最低所要単位数である。</p> <p>3 教職課程以外の一般学生で，高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望する者はB欄によればよい。</p> <p>但し，その場合はB欄中，A欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。</p> <p>4 A欄該当者がC欄によつて単位を修得した場合は，C欄中のA欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。</p>												

単位修得要領一覧表 (最低所要単位数)

昭和39年度以前入学者対象

科目 重 別	区 別	一般教育科目			保健体育科目			外国語科目						専 門 教 育 科 目	教 職 に 関 す る 専 門 科 目	合 計				
		人文 科学	社 会 科 学	自 然 科 学	計	実 技	講 義	計	英 語			英語以外の 外国語					計			
									英語(1)		英語(2) 英語学	英文 学	小計					I	II	小計
									I	II										
A	一般学生	12	12	12	36	2	2	4	6	6		12	4	4	8	20	84	144		
		(経済学概論) 必修 (商業概論) 必修			(数学必修)									民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経 営経済学, 簿記学, 会計学を 必修とする。他学科専門教 育科目, 職業指導を除く。						
B	商業教員養成 課程(教職課 程)を履修条 件としての入 学者	12	12	12	36	2	2	4	6	6		12	4	4	8	20	88	162		
		(経済学概論) 必修 (商業概論) 必修 (法学) 必修 (日本国憲 法2単位を含む)			(数学必修)									職業指導, 民法I, 商法I 統計学, 経済原論, 経済史 概論, 経営経済学, 簿記学, 会計学を必修とする。他学 科専門教育科目を除く。		14 教育原理 3単位 } 必修 教育心理 3単位 } 商業科教育法 3単位 } 教育実習 2単位 } 教育社会学 3単位 } 選択 教育史 3単位 } 教育統計 3単位 }				
C	高等学校英語 科二級普通免 許状取得希望 者	12	21	12	36	2	2	4	6	6	12	8	32	4	4	8	40	84	178	
		(経済学概論) 必修 (商業概論) 必修 (法学) 必修 (日本国憲 法2単位を含む)			(数学必修)									民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経 営経済学, 簿記学, 会計学 を必修とする。他学科専門 教育科目職業指導を除く。		14 教育原理 3単位 } 必修 教育心理 3単位 } 英語科教育法 3単位 } 教育実習 2単位 } 教育社会学 3単位 } 選択 教育史 3単位 } 教育統計 3単位 }				

注

- 1 表中の単位は総て最低所要単位数を示したものである。
- 2 A, B欄はそれぞれ卒業最低所要単位数である。
- 3 教職課程以外の一般学生で, 高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望する者はB欄によればよい。
但し, その場合はB欄中, A欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- 4 A欄該当者がC欄によつて単位を修得した場合は, C欄中のA欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。

B欄該当者がC欄をも履修しようとする場合はC欄中のB欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。

- 5 表中, 「英語以外の外国語」とは独語, 仏語, 中国語, 西語, 露語を示す。
(うち1科目選択必修)

II 教授要目

1. 一般教育科目

哲 学

教授 川 村 三千雄

哲学史の中より若干のテーマを選び、哲学の意味、目的、問題、方法等を講義し哲学的精神の一端に触れめしたいと思う。

倫 理 学

教授 川 村 三千雄

具体的な道德の事実から出発して倫理学の意義を示し更に道德哲学にまで及ぶ。且つ他方日本的道德の性格について反省する。

心 理 学

助教授 馬 場 道 夫

一般教育科目として、人間に対する広い見方を養うために色々の問題を取りあつかうが、社会科学の基礎及び産業心理学の準備科目として必要な項目に重点をおいて講義する。主な内容は次の通り、

- § 1 心理学の概念と方法
- § 2 行動の基礎
- § 3 動 機 (欲求の理論)
- § 4 社会的動機 (動機の形成)
- § 5 感情的行動
- § 6 適応と異常
- § 7 学 習
- § 8 記憶と忘却
- § 9 言語と思考
- § 10 感覚と知覚
- § 11 性 格
- § 12 集団行動 (社会心理)

教科書は特に定めない、参考書はその都度指示する。

歴史学

講師 阿部 謹也

(A) 長期的目標としては、

私達の現実認識・世界認識を深めてゆくための操作一部分として、ヨーロッパ世界像の検討をおこなうこと。

具体的には、(1)明治維新期の歴史学の「西洋文明とは何か」という問題設定から、最近の歴史学の「ヨーロッパとは何か」という問題設定への変化が、それぞれ、国内のどのような要請にこたえて生まれてきたものか、を明らかにし、それとのつながりのなかで、現在の日本における「ヨーロッパ史研究」の社会的意味を探ること。

(2)同時に、現代ヨーロッパの研究者によるヨーロッパ像構成の二・三の例を示し、それらの問題点を、(1)を発展させた論旨のなかで明らかにすること。

(B) 本年度の目標は、

ヨーロッパ学界の用語で中世後期として区分され、ルネサンス、宗教改革を用意した時代とみなされている12～15世紀を対象とする。

この時代の社会・経済・政治・文化・宗教上の出来事を、現代ヨーロッパの研究者がどのような現実的関心のもとに扱おうとしているのか。この点に話を集中させたい。参考書はそのつど示す。

日本文学

教授 広田 二郎

I 律令社会の文学

- 1 万葉集
- 2 古事記

II 貴族社会の文学

- 1 源氏物語
- 2 和歌
- 3 今昔物語

III 封建前期社会の文学

- 1 平安物語
- 2 方丈記

3 徒然草

IV 封建後期社会の文学

- 1 浮世草子
- 2 俳諧
- 3 浄瑠璃
- 4 その他の文学

外国(露)文学

助教授 松本 忠司

主題 ロシア・インテリゲンツイヤの歴史

本年度は、ゴリキイおよび同時代の作家を主に扱う予定である。

- I ロシア・インテリゲンツイヤ史概観
- II ゴリキイにおける遺産継承と革新の問題
- III 変動期のインテリゲンツイヤの問題

日本文化史

教授 広田 二郎

日本文化の史的展開を、芸術史、思想史を中心として論述する。

参考書:岩波講座「日本歴史」,「図説日本文化史大系」(小学館),「日本全史」(東大出版部),家永三郎著「日本文化史」。

社会学

教授 浜林 正夫

I 社会認識の方法論

II 近代社会観の成立

イ、マキアヴェルリ

ロ、ホッブス

ハ、ロツク

ニ、ルソー

ホ、スミス

III 古典的社会学の成立

イ、コント

- ロ. ヘーゲル
- ハ. スペンサー
- IV 形式社会学
- V 現代社会学の思潮
 - イ. マックス・ウェーバー
 - ロ. 大衆社会論
 - ハ. 分析社会学
 - ニ. マルクス主義
- VI 現代日本の社会構造
 - イ. 日本の階級構造
 - ロ. 社会集団とその特質
 - ハ. 文化とパーソナリティ
 - ニ. 民族と階級

法 学 (日本国憲法 2 単位を含む) 助教授 中 川 良 延

教科書：伊藤正己・加藤一郎編「現代法学入門」(有斐閣)

経済学概論 前期 助教授 藤 井 栄 一
後期 助教授 早 見 弘

教科書：Samuelson, *Economics* (リプリント版がある)

- 参考書：
- Hicks, *Sociae Framework*
 - Stigler, *Theory of Prices*
 - Henderson and Quandt, *Microeconomic Theory*
- (参考書はいずれも日本語訳が出版されている)

商業概論 教授 岡 本 理 一

商業に関する一般的解説を行い、以て現代商業の研究に必要な準備的、

基礎的知識をあたえることを目的とする。

- 1 商業の学問
 - (1) 学問とは何か (2) 商業学の発達
- 2 商業の起源とその発達
 - (1) 商業の発生 (2) 階段的発達 (3) 機能別発達
- 3 商業の概念
 - (1) 現代の商業学説と批判 (2) 現代商業の分類
- 4 現代の商業構造
 - (1) 商業の主体 (2) 商業の形態 (3) 商業の客体
 - (4) 商業の依存関係
- 5 配給組織
 - (1) 配給の意義 (2) マーケティングについて (3) 配給組織—
④集収組織 ⑤仲継組織 ⑥分散組織
- 6 資本主義の発展と商業
 - (1) 商業介入傾向と商業排除傾向 (2) 協同組合、公企業による商業
経営 (3) 社会主義と商業

テキストとして福田敬太郎著「商学総論」(昭和30年2月、千倉書房刊)を使用する。

数 学 教授 武 限 良 一

微分積分学の講義を行う、
教科書 矢野健太郎著 微分積分学 (裳華房発行)

物 理 学 非常勤講師
(北海道学芸大学助教授) 小 宮 英太郎

一般教育設定の趣旨に沿って講義したい。特に最近の産業界の動向に鑑み技術革新にこたえる近代物理学を紹介し、教養の一端に資したい。

講義は近代物理学の準備階梯としての最小限度の古典物理学と、近代物理学とに2分して行なう予定。

(教科書は用いず)

化学

教授 斉藤 要

化学の発展史をたどりながら、重要な物質観とか法則を中心として、時代との連関、学説相互の影響と遷移、現時点における検討などを系統的、発生的に述べると共に技術革新に対応する現代化学の一端と問題点を精疎工夫して論ずる予定である。

講義の根幹になる部門は無機化学、有機化学、物理化学の三部門であるが、さらに放射化学、工業化学、高分子化学の一部にも論及する。

生物学

非常勤講師
(北海道大学理学部) 向川 信一

どのように簡単な体制の生物でも、その個体の生命を維持し、種族を発展させるための機構は誠に巧妙である。人類は太古より、このような生命現象の諸相について数多くの知識を積み重ね、生命の本質を追究し、生物学的法則というべき原則の確立に努力を続けてきた。その成果は作物の栽培や動物の飼育とかの技術の向上をもたらし、他の自然科学との関連の下に我々の生活を豊かにして来たが、我々自身もまた生物の一員であり、その社会生活の根底に直接、或は間接に生物学の占める意義を否定することは出来ない。更に又生命の認識、生命体の発生や変化の過程等を巡る諸問題について今も尚鋭い思想的対立があり、それらが又我々の人生観や世界観等に関して多くの問題を提示していることも、言を俟たない。生物学は近年ようやく急速な進歩を示し、学問分野によつては日進月歩の感を深くするのであるが、講義では主として定説化した諸問題を中心に最近のトピックスを加え、問題点を示しながら行なう予定である。なお特別に教科書を定めない。

2. 外国語科目

英語 (I)

教 教	木 曾 栄 作
助教授	脇 田 勇
同	飛 田 茂 雄
同	宇 賀 治 正 朋
同	久 納 泰 之
同	北 市 陽 一

外国人教師 Wallace W. Smith

非常勤講師
(小樽商大短大教授) 北 村 正 司

非常勤講師
(北海道大学 助教授) 野 尻 吉之進

木 曾 栄 作
北 村 正 司
北 市 陽 一

テキスト (A, B, C)

William L. Clark: Spoken American English
(Elementary Course) (研究社)

脇 田 勇

テキスト (A, B)

(主) W. S. Maugham: The Summing Up (1) (大阪教育図書)

(副) W. S. Maugham: Creatures of Circumstance (-Episode-)
(南雲堂)

テキスト (C)

大学英作文 (大学社)

テキスト (C)

Sherwood Anderson: Winesburg, Ohio (研究社小英文双書)

Sherwood Anderson: Winesburg, Ohio (南 雲 堂)

飛田茂雄英語(Ⅱ)

テキスト (B)

Koh Masuda: A New Technique of English Composition [A]

(松柏社)

宇賀治 正 朋

北 市 陽 一

テキスト (A, D, E, F)

山崎英夫編 大学英作文演習 (研究社)

久 納 泰 之

テキスト (D, E)

(前期) W. S. Maugham: The Moon and Sixpence (金星堂)

(後期) Roy W. Collier & Wallace W. Smith: Lit-Oral

(including the text and literary oral lessons for The Short
Happy Life of Francis Macomber by Ernest Hemingway)

(南雲堂)

野 尻 吉之進

テキスト (F)

H. G. Wells: The Door in the Wall and Other Stories

(松柏社)

教授 木 曾 栄 作

助教授 脇 田 勇

同 飛 田 茂 雄

同 宇賀治 正 朋

同 久 納 泰 之

外国人教師 Wallace W. Smith

助教授 北 市 陽 一

非常勤講師
(北海道大学 助教授) 野 尻 吉之進

北 村 正 司

木 曾 栄 作

Wallace W. Smith

テキスト (C, D) (月曜授業の分)

G. Doty & J. Ross: Life in the U. S. A. (成美堂)

脇 田 勇

北 村 正 司

テキスト (A, B) (月曜授業の分)

William L. Clark: Spoken American English

(Intermediate Course) (研究社)

飛 田 茂 雄

テキスト (B)

Ernest Hemingway: The Old Man and the Sea (南雲堂)

宇賀治 正 朋

テキスト (A, C)

Logan P. Smith: The English Language (成美堂)

久 納 泰 之

テキスト (D)

(前期) John Lehman: Coming to London (山口書店)

(後期) Eudora Welty: A Curtain of Green (南雲堂)

野 尻 吉之進

テキスト (B)

Evelyn Waugh: Men at Arms (山口書店)

英 語 (2)

助教授 久 納 泰 之

外国人教師 Wallace W. Smith

久 納 泰 之

テキスト

(前期) Shakespeare: Hamlet (研究社「詳注シェイクスピア双書」)

ただし今年度はActIV (P. 106) より読み始める。

(後期) Shakespeare: Romeo and Juliet

(研究社「詳注シェイクスピア双書」)

ただし、後期用テキストは9月に購入する予定。

大塚高信著「シェイクスピア手帖」(研究社)

Wallace W. Smith

Course: Public Speaking

Instructor: Mr. Smith

Enrollment: With consent of instructor

Size: approximately 30students

- Purpose: 1. increase poise and ability to think on your feet
 2. emphasize normal, colloquial English rather than "speech contest" English.
 3. increase ability to arrange ideas logically
 4. increase ability to outline material and present ideas forcefully
 5. reading and discussion related to above points
 6. platform techniques and speech types

英 文 学

飛 田 茂 雄

英文学の歴史的な流れを詩の面からとらえ、詩の本質、効用、種類と形態、古典主義やローマン主義などの思潮について講義するとともに、比較的やさしい英詩をなるべく数多く鑑賞する。テキストは下記一冊のほかプリントを併用する。

テキスト

C. D. Lewis: Poetry for You (南雲堂)

外国語実験室 (Language Laboratory) 演習

教授 木 曾 栄 作

助教授 脇 田 勇

同 飛 田 茂 雄

同 宇賀治 正 朋

同 久 納 泰 之

同 北 市 陽 一

外国人教師 Wallace W. Smith

助手 高 島 稔

非常勤講師

(小樽商大短大教授) 北 村 正 司

1年においては英語発音の基礎的演習に重点をおき、母音、子音、リズム

イントネーションの全般に関し習熟させる。またこれと併行して各種の教材によつて聴解力を伸長させる。

2年においては教室授業と関連させつつ、学習内容の復習、確認に重点をおき、さらにその応用能力の増進をはかる。

テキスト

1年 Vernon Brown: Improving Your Pronunciation
(明 隣 堂)

2年 William L. Clark: Spoken American English
(Intermediate Course) (研究社)

独 語 講師 中 川 勇 治

ドイツ語教授の目的を教養としての外国語習得におく。ドイツ語Iでは基本文法の習熟を主眼とする。発音、読み方及び基本的会話の練習はL, Lの使用を含む。文法終了後は平易な文章を材料として文法知識の復習を行い、同時に簡単な作文練習をする。

ドイツ語IIでは文学作品、エッセイ、論文の順で現代ドイツ文章を読み、読解力涵養を目指す。作文、会話は適宜に練習する。

独 語 I 非常勤講師 (北海道大学文学部講師) 宮 下 健 三

発音から始めて簡単な初等文法の修得を図り、会話、読解力などの基礎を養う。

教科書 橋本文夫著
新編小ドイツ文法 (三修社)

独 語 II 非常勤講師 (北海道大学文学部講師) 宮 下 健 三

最初簡明な現代文(対話)により、初歩のドイツ語になじみ、次に訳読を主として中級の現代文学を読む。

教科書 ユーモア対話集 (三修社)
ホーフマンスタール「ルーツイドル」(朝日出版社)

独 語 非常勤講師 (札幌医科大学講師) フリッツ・オピッツ

仏 語 教授 松 尾 正 路

1年 発音, 文法, 作文, 訳読
2年 作文, 訳読, 翻訳実習

仏 語 非常勤講師 太 黒 マチルド

中 国 語 教授 川 上 久 寿

1年生
テキスト 改訂北京放送テキスト中国語基礎講座課本 光生館
辞 典 増訂現代中日辞典 光生館
2年生
テキスト 中国語と中国文化 光生館

露 語 I 助教授 松 本 忠 司

テキスト:
和久利誓一著 入門ロシア語文法 白水社 400円
木村彰一他編 基礎ロシア語読本 白水社 250円

露 語 II 助教授 松 本 忠 司

テキスト:
基礎ロシア語読本 (第III部)
チエーホフ 戯曲集(かもめ, 三人姉妹, 桜の園)ソ連邦<文芸>社 150円
ヴァルガ 20世紀の資本主義(抜萃, プリント刷り)

西 語

助教授 一 色 忠 良

- I 教科書： エンリケ・R・アユカル著「スペイン語一年」
（上智大学イスパニアセンター版）
- II 教科書： 拙著「スペインの周辺」（大学書林）

3. 保健体育科目

体 育 実 技

助教授 杉 山 登
講 師 藤 江 正
非常勤講師 須 貝 忠 吉

1. 必修実技種目

- (1) スキー 実技内容としては、直滑降、斜滑降、全制動滑降、全制動廻転、横すべり、シュテム・ボーゲン、クリスチャニア（各種）等について実習する。実施期間は1月～2月の予定である。
- (2) 水 泳 実技内容としては、自由型、平泳、背泳、横泳、潜水泳法、逆跳、立泳、救助法（人工呼吸法も含む）等について実習する。実施期間は6月～7月にかけて実施の予定である。

2. 選択実技種目

バスケットボール、バレーボール、羽球、卓球、ソフトボール、軟式野球、柔道、軟式庭球以上の8種目であるが選択実技種目に関しては4月～6月、9月～11月の2期間中において各期間毎に各々1種目を自由選択し履習するものとする。猶、人員等の関係から選択種目の変更をさせることもありうる。

3. 運動能力測定

腕立伏臥屈伸、体前屈、バランス、背筋力、肺活量握力、脚力、サイドステップ、サージヤントジャンプ、ハーバートステップ テスト
以上の10種目について5月中に測定する。

体 育 講 義

（前期後半） 助教授 杉 山 登
（前期前半） 非常勤講師 大 島 昭 夫

運動生理、社会体育に関する中より、主なる事項をとりあげて話してゆく予定である。

I 運動生理

- (1) 運動と血液
- (2) 運動と血液循環
- (3) 運動と呼吸
- (4) 運動と筋肉
- (5) 運動と骨格
- (6) 運動と神経系
- (7) 運動と疲労
- (8) 基礎体力とトレーニング法
テキストは使用しない。

II 社会と体育

- (1) 体育社会学の概念
- (2) 体育と人間関係
- (3) 産業革命と現代社会
- (4) 社会変容と体育活動
- (5) 体育による人間の社会的発達
- (6) 社会体育の定義・目標・範囲
・分類
- (7) 社会体育とレクリエーション
- (8) 社会体育の組織・運営・施設
・管理

4. 専門教育科目

民法 I

非常勤講師
(小樽商大短大助教授) 相原東孝

民法総則・物権法

教科書：資本主義民法研究会 民法講義 { 民法総則
物権法 (文人書房)

(参考書は講義のときに紹介する)

民法 II

助教授 中川良延

民法二部では、民法のなかの債権法の講義をおこなう。

債権とは物権に対比される権利で、例えば、買った物の引渡を請求する権利とか、貸した金の返済を請求する権利とか、相手の過失で交通事故があつた被害者が損害賠償を請求する権利のように、一方(債権者)が他方(債務者)に対し、一定内容の行為をすることを求める権利を、一般的に債権と呼んでいる。そこで債権法は、このような債権がどんな性格をもつた権利であるか、ということと、債権がどんなばあいには発生するか、ということを中心として規律している法であるが、講義の時間数などとの関係上、本講義では、主として債権発生原因を中心とする。したがつて、売買とか、金銭の貸借とか、土地や建物の貸借とか、不法行為による損害賠償などを中心に扱うことになる。

教科書：我妻栄・有泉亨「民法II債権法」(一粒社)

商法 I

講師 実方謙二

内容：商法測則、社会法

教科書：実方正雄「商法講義」

国際法 (後期)

助教授 桑原輝路

※経済法

担当者 未定

統計学

担当者 未定

数理統計学

講師 戸島 瀨

数理統計学の基本的事項を解説する。

経済原論

助教授 藤井 栄一

参考書 I (しばしば用いるもの)

1. Hicks, *Value and Capital* **
2. Keynes, *General Theory* **
3. Ackley, *Macroeconomic Theory* **
4. Bailey, *National Income and Price Level* *
5. Hansen, *Guide to Keynes* **
6. Baumol, *Economic Dynamics* **
7. Dorfman, Samuelson and Solow, *Linear Programming and Economic Theory* **
8. 古瀬大六, 『生産の経済学』
9. 天野明弘, 『貿易と成長の理論』
10. Stigler, *Theory of Prices* *

参考書 II (初歩的なもの)

12. Samuelson, *Economics* ***
13. Hick, *Social Framework* *
14. Allen, *Mathematical Analysis for Economists* *
15. Bushaw and Clower, *Mathematical Economics*

参考書 III (やや程度の高いもの)

16. Debreu, *Theory of Value*
17. Morishima, *Equilibrium, Stability and Growth*

参考書 IV (引用する論文の多くをまとめた論文集)

18. American Economic Association, *Readings in the Price Theory* *

19. AEA, *Readings in Monetary Theory*
20. AEA, *Readings in the Theory of Income Distribution*
21. AEA, *Readings in the Theory of International Trade*

* 日本語訳のあるもの

** リプリント版および日本語訳のあるもの

*** リプリント版のあるもの

※経済変動論

非常勤講師 地主 重美

計量経済学 (後期)

講師 松田 芳郎

計量経済学はひとつの応用経済学であり、数学的理論模型の設定とその統計的推定のふたつの分野に分れる。本講義では後者を中心に講義する。前者については管理科学のこの系統の科目を聴講することによつて補われたし。

履修に先だち次の諸科目をあらかじめ履修していること (Pre-requisit) が前提とされている。経済学概論・統計学・数理統計学・応用数学 I, II, III. 統計学の知識に不足を感ずるものは、最小限森田優三「統計概論」1964改定版(日本評論社)を熟読しておくこと。経済原論履修済が望しい。

テキストは、未定である (訳本が出ない場合は、本年も L. Klein, *Introduction to Econometrics* を使用するかもしれない)。週二回、冬学期に行う、随次演習を課す。

講義予定

- A. 統計資料論 (統計学・経済統計の知識を前提として概説に留める)
- B. Model building
- C. Specification
 - C 1. 単一方程式接近の諸問題
 - C 2. 連立方程式接近の諸問題
 - C 3. 横断面分析と時系列分析
 - C 4. 多重共線型関係 (multicollinearity)
 - C 5. 不等分散性
- D. Macro model と aggregation problem

D 1 . Macro modelの分解

D 1 . Deflator

E . 予測と経済政策 (社会主義計画経済における計量経済学的手法の適用,)

参考文献 (邦語文献)

福地崇生「計量経済学入門」東洋経済

S . ヴアラヴァニス (川勝昭平訳) 「計量経済学」ダイヤモンド

ジョンストン (竹内啓訳) 「計量経済学的手法」ダイヤモンド

外国語文献については講義の間にプリントを配布する。

経済史概論

教授 浜 林 正 夫

I 古代社会

- イ . アジア的共同体
- ロ . ギリシヤ・ローマ的共同体
- ハ . ゲルマン的共同体

II . 封建社会

- イ . 古典荘園
- ロ . 純粹荘園
- ハ . 農奴解放
- ニ . ギルドと中世都市

III 絶対主義

- イ . 寄生地主制
- ロ . マニユファクチュア
- ハ . 遠隔地商業の発展

IV 市民革命

- イ . 革命の階級構造
- ロ . 革命の土地問題
- ハ . 初期独占の崩かい

V 産業革命

- イ . 資本の本源的蓄積

ロ . 農業革命

ハ . 技術の革新

VI 資本主義の発展

- イ . 産業構造の変化
- ロ . 循環性恐慌
- ハ . 労働運動の展開
- ニ . 資本の集中と帝国主義

財 政 学

助教授 早 見 弘

今年度は以下のテーマにしたがつて、各章ごとに完結的に講義をすすめる予定である。

- 1 . 経済政策の目標と財政の役割
- 2 . 租税制度論の構造と発展
- 3 . 租税制度論
- 4 . 補整的財政政策論

参考書 : マスグレイヴ著 木下和夫監訳『財政理論』(IおよびIII, 有斐閣)

井藤半弥著『財政学総論』(千倉書房)

その他、講義中に指示する文献

国際経済論

教授 麻 田 四 郎

本年度は前半の貿易理論についてはできるだけ簡約にすまし、後半に多くの時間を割当てたい。

- 1 古典派貿易理論
(比較生産費, 国際価値論, 交易条件, 外国為替)
- 2 近代的貿易理論
(貿易乗数, 国内均衡, 国際均衡)
- 3 国際経済協力の理論と実際
(国際通貨基金, 国際復興開発銀行, ガットその他)
- 4 低開発国問題
(特に先進国との関係)

テキスト 藤井茂『新版国際経済学入門』千倉書房

G. M. Meier, International Trade and Development

(拙訳近刊)

商業英語

教授 木曾栄作

国際貿易の実務的知識を与えつつ、貿易取引に用いられる実用的英語に重点をおいてその構造的特異性を講述して、その表現応用能力の養成につとめる。

1. 取引申込
2. 信用照会
3. 引合い
4. オファー
5. 注文
6. 船積
7. クレーム
8. 決済

テキスト

1. 虎尾正助著 英語外国貿易通信 (育文社)
2. 浜谷源蔵著 貿易要論 (同文館)

金融経済論

助教授 阪口伸六郎

第一章 貨幣理論

- 1 種類と定義
- 2 物価と貨幣
- 3 貨幣供給と貨幣需要
- 4 貨幣の機能
- 5 貨幣保有動機
- 6 第二次大戦以後の新しい理論の発展

第二章 金融組織

- 1 貨幣市場と資本市場
- 2 金融機関

3 貨幣経済社会における再生産過程

4 信用創造

5 貨幣の管理

第三章 金融政策

1 金融政策の課題

2 金融資産の流動性

3 弾力的金利政策

4 政策の手段

5 金融の自律的調整作用

第四章 財政と金融

1 国債政策と公共投資

2 国債発行とインフレーション

3 経済転換期論

4 国債発行と有効需要

第五章 国際金融

1 国際収支の均衡

2 IMF体制

3 為替レートの役割

注意 教科書は使わない参考書は各章毎に内外文献をその都度紹介する。

銀行論 (前期)

教授 (併任) 藤沢正也

上半期集中講義, 4単位 (都合により2単位で開講されることあり)

- I. 金融 (Money and Banking) の基礎的諸範ちゅうと基本原理の説明
- II 各種金融機関の構成と金融市場の機能 (特に日・英預金銀行業務の比較検討)
- III 金融政策の問題点 (特に資本蓄積に対する管理通貨制度の効果と限界を究明)

参考文献, マルクス, 説本論 (邦訳), 第1巻第1分冊, 第3巻第3分冊
キング, ロンドン割引市場史, 藤沢訳, 中村孝俊, 高度成長と金融・証券 (岩波新書)

配給論

教授 岡本理一

マーケティング・マネジメントに重点をおいて講述するが、協同組合、中小企業問題にも関説する。

- 1 マーケティングの概念
 - (1) マーケティングの意義 (2) マーケティング研究の現状
- 2 マーケティング・ミックスの適正化
 - (1) 製品計画について (2) 売価政策について
 - (3) 販売促進について (4) 販売経路について
- 3 販売経営
 - (1) 販売経営の管理 (2) 販売計画 (3) 販売予算
- 4 市場調査
 - (1) 市場調査の意義 (2) 市場調査の方法 (3) 販売割当
- 5 製品計画
 - (1) 製品計画の重要性 (2) 製品計画の方法
- 6 販売政策
 - (1) 販売決定の意義 (2) 販売決定の方法
- 7 広告の管理
 - (1) 広告の意義 (2) 広告効果の測定 (3) 広告費
 - (4) ラジオ・テレビによる広告
- 8 販売経路の管理
 - (1) 配給組織の合理化 (2) 販売組織の系列化
- 9 協同組合
 - (1) 協同組合の意義 (2) 協同組合の配給事業 (3) 商工組合
- 10 中小企業問題
 - (1) 中小企業の特質 (2) 中小企業の経営合理化 (3) 中小企業の組織化特定のテキストを使用せず、講義に際し、毎時、要綱を印刷したものを配布する。

保険論

教授 久木久一

保険の概念—本質、組織、種類、保険料と責任準備金

保険契約

- 1 序説
- 2 保険契約の締結
- 3 保険契約の変更
- 4 保険事故の発生
- 5 保険契約の消滅

海上保険論—被保険利益、海上危険、海上損害
本年度は契約論に重点を置き、時間の許す限り海上保険を講ずる予定。

証券市場論

助教授 進藤 寛

講義の目的：金融市場の一部としての証券市場の実態と役割を明らかにし
わが国証券市場の特色について分析すること。

講義の内容：

1. 擬制資本——証券の本質
 - (イ) 擬制資本の定義と利子生み資本との関係
 - (ロ) 株式会社の発展と擬制資本
 - (ハ) 擬制資本と金融資本
2. 証券の種類——擬制資本の現実的形態
 - (イ) 確定利付き証券（公社債、優先株）
 - (ロ) 普通株
3. 証券市場の構造と機能
 - (イ) 発行と引受
 - (ロ) 発行市場と流通市場の関係
 - (ハ) 流通市場（証券取引所、上場制度、取引方法、取外市場）
 - (ニ) 証券投機の仕組み
 - (ホ) 株式分布状況（個人投資家、機関投資家）と投資信託
4. 各国証券市場の歴史と実態
5. わが国証券市場の歴史と現在の問題点
[備考] 教科書を使用しない。

※証券金融論

非常勤講師
(慶応義塾大学教) 小竹豊治

経営経済学

教授 伊藤森右衛門

講義の内容, (1) 経営学の方法と対象 (2) 経営学の歴史的展開
(3) 企業形態と集中 (4) 収益性, 生産性, 経済性
(5) 経営管理の機能と組織

参考書 古川栄一, 「経営学概論」

簿記学

助教授 久野光朗

最初の授業時間に授業計画と学習方法を説明し, 参考書の紹介をいたしますが, 授業の進め方は次のとおりです。

§ 1 総論

§ 2 貸借理論

§ 3 勘定理論

§ 4 帳簿組織論

§ 5 決算理論

テキスト:

石河英夫, 「商業簿記要論」(お茶の水書房, 1953)

参考書:

片野一郎, 「簿記の手ほどき」(同文館)

片野一郎, 「簿記精説」(同文館)

井上達雄, 「例解簿記会計精義」(白桃書房)

沼田嘉穂, 「簿記教科書」(中央経済社)

黒沢清, 「簿記原理」(森山書店)

商業数学

講師 沼田久

商業数学といえば, 年金算, 利息算などを内容とするものであるが, ここではもつと広く, 商業, 経営, 経済に関係する数学を講義する予定である。

テキストは未定。

会计学

教授 石河英夫

I. 会计学の概念

II. 企業会計の本質・職能

III. 企業理論の展開

IV. 企業会計の基礎的前提

V. 企業会計原則の成立・構造

VI. 企業会計の一般原則

VII. 損益計算書原則

VIII. 貸借対照表原則

(注) 商法ならびに法務省令「計算書類規則」との関連性を考慮して述べる予定である。

応用数学 I

教授 武隈良一

講義の内容は解析学(微積分補充, 微分方程式, 変分法, 積分方程式など)であるが, それらの社会, 経済現象への応用の基礎をつくるのが目的である。

教科書 木村俊房著 常微分方程式の解法(培風館発行)

応用数学 II

講師 沼田久

前年度の商業数学に引き続いて, 行列, 連立一次不等式, 線型計画, ゲームの理論等を講義する, 若干の数学的センスまたは根気が必要である。

テキストは

二階堂副包: 経済のための線型数学 培風館を使用する予定。

応用数学 III

講師 戸島 潤

主として統計学の応用について講義する。

管理科学 I

助教授 西川 欽也

管理科学Iは4年度の研究指導Iの前半と接続して、ほぼ次のような構成をもたせる予定である。

- I. 国民経済計算
- II. 活動分析, 一般均衡理論と投入産出分析
- III. 投入産出分析の応用
- IV. 国民経済の予測モデル・計画モデルの検討

以上のうI~IIIを管理科学Iで消化し, IVは研究指導Iに回る予定である。それぞれのパートのはじめに1~2回総括的な講義を行い, 後は輪読会形式で授業を進める。使用テキストは下記のを予定しているが, ②については後に変更するかも知れない。

- ①宮沢健一「日本の経済循環」(応用経済学2) 春秋社
- ②岡崎不二男・金子敬生「産業連関の経済学」(応用経済学5) 春秋社

管理科学 II

教授 古瀬 大六

下記のテキストの中から適当な章を抜萃し, 報告・討論させる。

- Buffa: Models for Production and Operations Management, Wiley, 1963
- Starr: Production Management, Systems and Synthesis, Prentice-Hall, 1964.

管理科学概論

教授 古瀬 大六

- 1 管理科学(OR)の歴史
- 2 社会科学における自然科学的方法
- 3 論理実証主義
- 4 サイバネティクス

- 5 情報理論
- 6 記号論理学
- 7 電子計算機
- 8 大脳と電子計算機
- 9 オートメーション
- 10 計算機と社会革命

数値計算

講師 穂鷹 良介

計算機プログラミングのための理論とその応用を講義する。前者のためには従来ありがちな応用数学特有のアイマイさを排し, 厳密な論理の展開が行われる。そのために受講者は, しっかりとした微積分学及び数理統計学の基礎を有していることが望ましい。後者のためには, 本学に設置されているOKITAC-5090H型電子計算機を使用して, ALGOL-Hによるプログラミング演習を行う。ALGOL-Hに対する説明も講義中に行う。昨年同様, 原則として毎時間, 宿題を出し毎月末にまとめて提出して貰う予定である。

教科書 未定

経済学特殊問題 (前期) 非常勤講師 (北海道大学 経済学部助教授) 降旗 節雄

資本主義経済の科学的解明についての方法論と, その原理的体系を中心として, さらに国家独占資本主義論, 現代日本経済論などを概括的にとりあつかう。

講義の内容構成は次のとおりである。

1. 社会科学方法論
2. 唯物史観と経済学
3. 資本主義の発展段階と経済学の構成。
4. 資本主義経済の原理
 - 1) 流通形態論

- 2) 生産過程論
- 3) 分配関係論
- 5. 帝国主義論
- 6. 大戦間世界経済と国家独占資本主義論
- 7. 現代日本経済論
- 8. (補論) 経済学的現状分析と戦畧・戦術論。

職業指導 (北海道学芸大学助教) ^{非常勤講師} 石井 茂

講義内容については開講の最初にふれる。

日本経済史 (E) 担当者 未定

農業経済学 (E) 担当者 未定

社会政策 (E) 助教授 吉武清彦

第一篇 社会政策史

- 第一章 古代・中世の奴隷制度
- 第二章 重商主義時代の社会政策 (I)
- 第三章 " (II)
- 第四章 産業革命期の社会政策
- 第五章 資本主義確立期の社会政策
- 第六章 両大戦間の社会政策
- 第七章 第二次大戦後の社会政策

第二篇 社会政策各論

- 第八章 労働者保護
- 第九章 賃金及び賃金政策
- 第十章 社会保険
- 第十一章 労働組合と社会政策

第十二章 労働運動

第十三章 国際的社会政策

参考書：第一篇 大河内一男 社会政策 (総論) (有斐閣) (改訂版)

コール イギリス労働運動史

山中篤太郎 イギリス労働運動小史

第二篇 大河内一男 社会政策 (各論) (有斐閣)

E. H. Phelps Brown, *The Economics of Labor*

(Yale Univ. Press, 1962) 610.—

近藤文二 社会保険 (岩波書店)

篠原・舟橋編 日本型賃金構造の研究

※海外証券事情 (C) ^{非常勤講師} (元神戸大学教) 上林正矩

原価計算 (C) 助教授 久野光朗

最初の授業時間に授業計画について説明をする予定ですが、講義の進め方は次のようにしたいと考えています。

§ 1 総論

§ 2 実際原価の計算

§ 3 標準原価の計算

§ 4 原価差額の処理

テキストはとくに指定しませんが、各自で必ず「原価計算基準」を用意してください。

参考書：

片野一郎, 「工業簿記の手ほどき」 (同文館)

青木茂男, 「原価計算新稿」 (中央経済社)

山辺六郎, 「最新原価計算精説」 (白桃書房)

財務管理 (C) 担当者 未定

工場経営 (C)

教授 伊藤 森右衛門

第一講 序論—工業経営の史的発展—

- (1) 経営的生産の発展と管理的思考
- (2) 工場管理の方式と標準化
- (3) オートメーションと工場管理

第二講 工場管理の組織的側面

- (1) 経営計画と計算的思考
- (2) プロダクション・コントロールと組織
- (3) 作業研究と工程管理

第三講 工場管理の人的側面

- (1) 賃銀管理と職務評価
- (2) 監督者リーダーシップとモラル
- (3) 経営参加と労使関係

※ 監査論 (C)

担当者 未 定

5. 教職に関する専門科目

教育原理

助教授 田 中 昭 徳

- I 社会現象としての教育
- II 科学教育学の発展とその諸類型
- III 教育の諸領域
- IV 学 校
- V 生産労働と教育

教育心理学

助教授 馬 場 道 夫

教職課程のために必要な章を供するほか、産業中心の各種の心理テストの実習を行ない産業心理学を補なうものとする。

- § 1 教育心理学とその方法
- § 2 発 達
- § 3 青 年 期
- § 4 性格の測定 (性格テスト実習)
- § 5 知能とその測定 (知能検査の実習)
- § 6 学力の価値
- § 7 学 習
- § 8 態度の形成
- § 9 カウンセリング
- § 10 教師と学校

参考書 中川大倫 教育心理学入門 誠信書房

商業科教育法

非常勤講師
(小樽商科大学短大教授) 金 卷 賢 字

第1章 商業教育の沿革

第1節 欧米における商業教育

第2節 わが国における商業教育

第3節 商業教育の現状と問題点

第2章 教育課程

第1節 商業教育の性格と目標

第2節 商業科目の分類

第3節 商業課程の構成

第3章 学習指導法

第1節 商業科と単元学習

第2節 商業諸科目と単元学習

第3節 教師論

次のテキストを使用する

大埜隆治著, 高等学校商業教育論, 市ヶ谷出版社, 500-

教育実習

非常勤講師
(小樽商科大学短大教授) 金 卷 賢 字

本年度の「教育実習」は小樽緑陵高校を実習校として行われる筈である。期日はまだ未定であるが、いつれ確定をまつて掲示されるだろう。実習にはいる前に、数回にわたつてガイダンスを行う。

教育史

助教授 田 中 昭 徳

- I ルネサンス期の教育思想と学校制度
- II 宗教改革期の教育思想と学校制度
- III 絶対主義国家の教育政策
- IV 市民革命期の教育思想と教育改革
- V 産業革命と教育